

学校空間を活用した住まい・建築・まち学習

三重県いなべ市立石榑小学校

実施学年：小学校6年 実施教科：国語、算数、社会、家庭、図工
 生徒数：41人（1学級） 実施時間数：6時間

12月2日 1・2時間目

内容：学校や地域についての話を聞き、それをテーマとして俳句や川柳をつくる。

目的：地域の人の思いや校舎の建て替えについて知り、愛着を持つこと。

12月9日 1・2時間目

内容：等身大の「分身ものさし」を使って、校舎内のさまざまな場所をはかる。

目的：建物や家具の寸法と身体の関係を知ること。

12月16日 1・2時間目

内容：自分の部屋の縮図をかく。家の特徴を振り返り、世界の住まいについて話を聞く。

目的：縮図のかき方と読み取り方を習得すること。住まいの理解を深めること。



学習のねらい

- ・学校や住まいや地域についての特徴や魅力に気づき、関心や愛着を持つこと。
- ・建築を題材として教科の学習活動を通して、その教科の学習内容の理解を深めること。
- ・実生活にあるものを扱った学習を行うことで、学習に取り組む意欲を養うこと。
- ・グループでの活動を通して、自ら考え判断し伝える力や協調性を育むこと。

学習活動

- 1コマ目「石榑小や地域について知ろう」（社会）
地域の歴史や校舎の建て替えの話を聞き、地域における学校の位置づけを理解する。
- 2コマ目「学校や地域の俳句・川柳をつくろう」（国語）
学校や地域の好きなどところについて俳句や川柳を作って発表する。
- 3コマ目「分身ものさしをつくろう」（図工）
自分と等身大の分身を、大きな画用紙を切り抜いて作成する。
- 4コマ目「分身ものさしで長さを測ろう」（算数）
校舎内にあるものの長さを分身いくつ分か調べることで測定する。
- 5コマ目「縮図を使って自分の部屋をかこう」（算数・家庭）
100分の1の縮尺を使って、自分の部屋と布団の大きさを作図する。
- 6コマ目「自分の家をみてみよう」（家庭・社会）
家にある部屋や場所とその特徴を挙げ、日本や世界の住まいについて知る。
※それぞれ1日の授業後に振り返りの作文を書いた。また、6コマすべてを終えた後にアンケートをした。

準備品

ワークシート、電子黒板、四六版画用紙、粘着テープ、はさみ、メジャー、定規、三角定規、校舎の図面、学校周辺の地図 など

実施場所

教室、多目的コーナー、多目的ホール、校舎内各所

学習の流れ

場所・授業数	概要	活動の様子	反応
<p>多目的 コーナー</p> <p>1 時間</p>	<p>「石樽小や地域について知ろう」 (社会)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校の好きなところや好きなことをワークシートに記入する。 ・地域の歴史や、校舎の建て替えに関する話を聞く。 ・わかったことをワークシートにまとめる。 ・自分達の学校の1番の魅力は何だと思うか考える。 	 	<ul style="list-style-type: none"> ・最初は、「運動場」「修学旅行」「里まつり」などが好きなところとして挙がった。 ・校舎の建て替えに関わった名古屋大学の小松先生から話を聞き、「地域の人に支えられている事」や、「校舎の工夫」について興味を持っていた。 ・最後に問いかけた学校の一番の魅力は、「竜ヶ岳が見えること」「教室にドアがないこと」「中庭」など、話の内容に関連したものが多かった。
<p>多目的 コーナー</p> <p>2 時間</p>	<p>「学校や地域の俳句・川柳をつくろう」 (国語)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・俳句と川柳について復習する。 ・地域に関するキーワードを1人1つ選び、それに関する俳句または川柳をつくる。 ・グループ内で声に出して発表する。 ・グループ内のメンバーの句について鑑賞しあう。 ・句を清書し、後日カルタとして遊べるようにする。 	 	<ul style="list-style-type: none"> ・グループの人と相談しながら俳句や川柳をつくっていた。 ・1コマ目の話に関連させ、校舎の工夫や地域の特徴についての句も多かった。 ・楽しみながら、いくつも句をつくった子もいた。
<p>多目的 ホール</p> <p>3 時間</p>	<p>「分身ものさしをつくろう」(図工)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2人1組で作業を行う。1人が、四六版画用紙2枚を粘着テープでつなげたものの上に仰向けに寝て、もう1人が体の輪郭に沿って線を引く。線に沿って画用紙を切り、等身大の『分身ものさし』を作成する。 ・分身ものさしを作って気づいたことをワークシートにまとめる 	 	<ul style="list-style-type: none"> ・ペアで協力して作業をしていた。 ・輪郭をなぞることや大きな紙を切ることに苦労している子もいた。 ・「相手の身長や頭の大きさが自分と違った」「自分たちの体の大きさにびっくりした」という感想があった。

場所・授業数	概要	活動の様子	反応
--------	----	-------	----

多目的
ホール、
校舎内

4 時間

「分身ものさしで長さを測ろう」
(算数)

- 3コマ目で作成した『分身ものさし』を並べ、何人分か調べることで指定された大きさや幅を測る。
例：教室の大きさ、階段の幅
- 『分身ものさし』とぴったりの長さの場所や物を探す。
例：ひざの高さは、何の高さと同じかな？
- 分身の長さをメジャーで測り、計算で実際の長さを求める。
- 寸法と身体の関係について話を聞き、わかったことをまとめる。



- 多目的ホールは縦11人分 × 横7人分、階段の幅は2と3分の1人分、などと測っていた。
- ひざの高さと同じものはイス、肩の高さと同じものはホワイトボードなどが挙げられた。
- 寸法と身体の話を読み、「身の回りの物は人が使いやすい長さになっている」「階段の手すりも大人用と子供用に2つある」ことを理解していた。
- 「もっといろいろな場所を調べたい」という感想もあった。

教室

5 時間

「縮図を使って自分の部屋をかこう」
(算数・家庭)

※事前に「あなたの寝ている布団（またはベッド）の大きさと、寝ている部屋の大きさを、メジャーで測って記録しよう。」という宿題を出す。

- 縮図の基本について復習する。
- 自分の寝ている部屋を 1/50 の縮図としてかく。
- その部屋の面積を求める。
- 学校の平面図 (1/300) から、教室の大きさを求め、面積を求める。
- 学校の平面図や周辺地図を見比べ、気づいたことをまとめる。

〈めあて〉縮図のある図面を書いたり、読み取りたりできるようになる。
●宿題で測ったことをもとに、あなたの寝ている部屋を1：50の縮尺を使って書いてみよう。布団（またはベッド）の大きさも書こう。

- 初めに縮図の復習をし、少し前に習ったことを思い出していた。
- 縮図をかいた時、速い子は、机や棚の家具も加えていた。一方で、計算や作図に苦戦している子もいた。
- 自分の部屋や教室の面積を求める際には、cmとmの変換に戸惑っている子もいた。
- 「縮図を使えば広いものでも簡単に測れる」という気づきや、「次は校舎全体の面積を調べたい」という意欲的な感想があった。

教室

6 時間

「自分の家をみてみよう」
(家庭・社会)

※事前に、自分の家について「一戸建て、マンションやアパートか」「何階建てか」「なにでできているか」「どんな部屋や場所があるか」に答える宿題を出す。

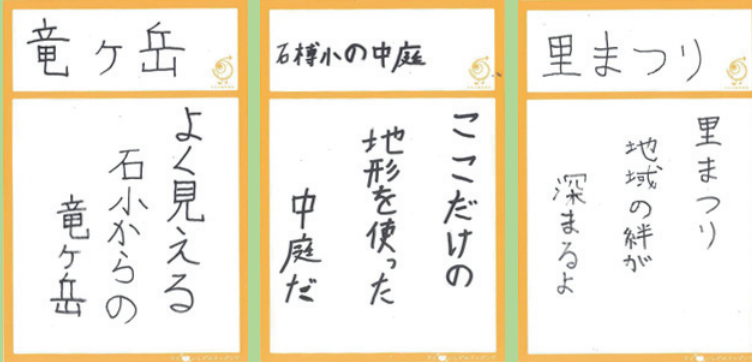
- 家の種類、階数、構造について振り返る。
- ワークシートに、家にある部屋や場所を挙げ、特徴をチェックする。
例：風通しがいい、床に座る
- 日本や世界の住まいについての話を聞き、わかったことをまとめる。

〈めあて〉自分の家の特徴に気づこう。
①下の表の一覧表の列に、自分の家にある部屋や場所を書こう。
②それぞれの部屋や場所について、あてはまる特徴に○をつけよう。

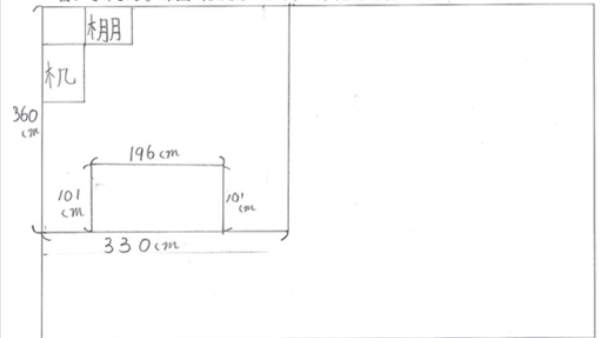
特徴	日当たり がいい	風通し がいい	雨があ たると ぬれる	土足で 入る	床に 座る	たたみが 敷いてある
部屋や場所						
リビング	○	○			○	
キッチン	○	○				○
洗面所	○	○				○
ベランダ	○	○	○			
玄関	○	○		○		
子供部屋	○	○				○
トイレ	○	○				○
お風呂	○	○				○
父の部屋(仕事)	○	○				

- 家にある部屋や場所について、子ども部屋やリビングが最初に挙げられた。他には、と問いかけて続けると、トイレや玄関や押し入れなどの居室以外も挙げられた。
- 「日当たりがいい部屋が多い」「雨にあたる場所がない」という気づきがあった。
- 日本や世界の住まいの話を読み、「土の家や水の上にある家にびっくりした」「その地域の環境に合わせて家をつくっていることを知り、すごいと思った」などの感想があった。

生徒の作品



〈めあて〉縮尺のある図面を書いたり、読み取ったりできるようになろう。
●宿題で測ったことをもとに、あなたの寝ている部屋を1:50の縮尺を使って書いてみよう。布団(またはベッド)の大きさも書こう。



●自分の部屋の面積を求めよう。 ●学校の平面図から教室の面積を求めよう。
縦 3.6 m 横 3.3 m 縦 10.2 m 横 7.2 m
計算 $3.6 \text{ m} \times 3.3 \text{ m} = 11.88 \text{ m}^2$ 計算 $10.2 \text{ m} \times 7.2 \text{ m} = 73.44 \text{ m}^2$
面積 11.88 m² 面積 73.44 m²

●石樽小の校舎の図や地図など、異なる縮尺の図面を見て、気づいたことや、考えたことをまとめてみよう。もっと知りたいことも書いてみよう。
もっと知りたいことはグラウンドと小学棟など「ちが」が大きくて、差はどれくらいあるのが知りたい！
田んぼや又田は石小の何倍が知りたい。

〈めあて〉自分と同じ大きさの「分身ものさし」を使って長さを測ったり、「分身ものさし」とびつたりの場所を探したりしよう。

その1
教室の大きさを調べよう！
縦と横の長さを測ろう。
分身ものさしを並べると、何人分かな？
縦 5 人分
横 7 人分

その2
分身のむぎの長さ、何の高さと同じかな？
見つけた場所・もの
ちょうどいい場所やものを見つけよう！
図書室・イス

30号 488 cm = 772 cm 実際の長さ
縦 772 cm
横 1076 cm
実際の高さ 38 cm

先生の声

実施に当たり工夫した点
苦労した点

- 授業の実施協力者として、名古屋大学の建築学コースの小松尚先生や研究室の学生から内容の提案を受けた。事前に、進め方について打ち合わせを重ねた。
- ワークシートや授業案を作成し、円滑に授業が進行できるよう工夫した。
- 俳句は、元々学校で力を入れていたので、関連させて授業を行った。
- 縮図は、子どもが理解しきれていない単元で、習ってからしばらく時間が経っていたので、応用をやることに苦労した。
- 授業を行った日には、振り返り作文（普段から毎週末に行っているもの）として授業の子どもに感想を書いてもらった。

児童・生徒の反応

- 校舎立て替えの話聞き、「他の学校と違うことを知った」「学校のことを好きになった」という声が多かった。
- 縮図があまり好きでなかった子が、「この勉強をきっかけに好きになれたのでよかった」と感想を書いていた。
- 全ての授業を終え、「ぼくたちがこの土地に住んでいることにほこりを持って生きていきたい」と思います」「この石樽小学校にかよっていることを感謝したいと思います」「安心・安全・豊かに住めるようにしてあるのが分かり家や学校を建ててくれた人に『ありがとう。』と言いたいです。」という感想もあった。
- 授業後のアンケートで、95%の子が『住まい』『建築』『まち』について、もっと知りたいと思った」として肯定的な回答をした。

教師の変化
(担当、担当外を含めて)

- 子ども達と同じように、地域の方の学校への思いや、校舎の工夫について知らなかったことがわかった。この授業が毎年続けられたらよいと思った。
- 身体と寸法の関係について、おもしろいと思った。
- 後半の授業について、家庭科にこのような内容をこれから入れられるのではないかと考えた。